

# 第5回日輪杯空手道交流選手権大会実施要綱

- 名 称 第5回日輪杯空手道交流選手権大会
- 主催・主管 全日本空手道連盟系東会 千政館愛知県本部 天空会
- 後援（予定） （公財）愛知県体育協会・日進市体育協会・日進市空手道連盟・中日新聞社
- 開催日時 平成28年10月23日（日） 午前9時30分～午後5時（予定）
- 会 場 日進市スポーツセンター 第1競技場（住所：日進市蟹甲町家布 58-1 TEL：0561-75-1888）
- 参加対象 本大会趣旨に賛同した団体（前回参加県：愛知、静岡、岐阜、三重、大阪、京都、兵庫、神奈川）
- 大会趣旨 日進市から空手道を通じて友好の輪を広め、空手道の普及発展のため親睦と技術の交流を深め、また競技を通じて調和と有為な人格形成を図ることで社会に貢献する人材育成を目的とする。
- 競技規定 （公財）全日本空手道連盟競技規定・審判規定に準ずる。但し運用は本大会申し合せ事項による。
- 競技種目 （参加者人数によっては種目変更あり）

種目番号	形競技（個人戦）	種目番号	組手競技（個人戦）
1	小学1年生男子の部	19	小学1年生男子の部
2	小学1～2年生女子の部	20	小学1～2年生女子の部
3	小学2年生男子の部	21	小学2年生男子の部
4	小学3年生男子の部	22	小学3年生男子の部
5	小学3～4年生女子の部	23	小学3～4年生女子の部
6	小学4年生男子の部	24	小学4年生男子の部
7	小学5年生男子の部	25	小学5年生男子の部
8	小学5～6年生女子の部	26	小学5～6年生女子の部
9	小学6年生男子の部	27	小学6年生男子の部
10	中学生女子の部	28	中学生女子の部
11	中学1年生男子の部	29	中学1年生男子の部
12	中学2・3年生男子の部	30	中学2・3年生男子の部
13	高校生女子の部	31	高校生女子の部
14	高校生男子の部	32	高校生男子の部
15	一般女子の部	33	一般女子の部
16	一般男子の部（大学生・専門生含む）	34	一般男子の部（大学生・専門生含む）
17	男子シニアの部（45歳以上）	35	男子シニアの部（45歳以上）
18	女子シニアの部（40歳以上）	36	女子シニアの部（40歳以上）

※組手参加者はメンホー、プロテクター、拳サポーター着用。男子はファール・カップ（小学5年以上）着用。

参加出場費 選手1名につき2種目3,000円。1種目2,500円。

申込み方法 参加者は参加申込書を所属する団体の責任者に参加費を添えて提出してください。  
各責任者は参加者を一覧表に取りまとめ申込書、参加費とともに下記迄提出ください。

申込先・期限 大屋まで（TEL・FAX 0561-73-7763） 期限 平成28年8月27日（土）  
〒470-0102 愛知県日進市藤島町瓶ノ側 27-1 e-mail [fd3s-y.tenku@hi3.enjoy.ne.jp](mailto:fd3s-y.tenku@hi3.enjoy.ne.jp)

- 振込先 <ゆうちょ銀行からの送金の場合>
- ・ゆうちょ銀行 記号：12160 口座番号：17800891 口座名「オオヤ ヨシオ」  
<ゆうちょ以外からの送金の場合>振込手数料に係る場合はご負担ください。
  - ・ゆうちょ銀行 店名：二一八「ニイチハチ」店番：218 普通預金 口座番号 1780089  
口座名「オオヤ ヨシオ」
- 表彰 形、組手ともそれぞれの部門において、1位～5位（ベスト8）の者を表彰する。  
但し、参加人数が少ない種目の場合はこの限りではない。  
形、組手の総合得点により各部門、最優秀選手賞及び優秀選手賞を1名ずつ選考し表彰する。
- 健康管理 競技中の負傷等は応急措置を施した後の責任は負わない。スポーツ安全保険に必ず加入のこと。
- その他
- ・組合せはコンピューターにて行う。出場費は大会中止の場合以外、返却いたしません。
  - ・審判・役員は当日午前8時30分、選手は午前9時までに会場に集合ください。
  - ・主催者の指示に従わない参加者は以後出場不可。ゴミは持ち帰り。忘れ物をしないでください。
  - ・安全具類は各自で用意して下さい。会場、駐車場その他施設内での事故、ケガについては保障しません。なお昼食は各自用意下さい。審判・役員の方の昼食はこちらで用意します。
  - ・ゼッケンシートは用意しますので、シートが届いた後、種目、番号を各自で記入ください。

なお、大会終了後、ゼッケン番号によるお楽しみ抽選会を開催します。ご参加ください。

<個人情報の取り扱いについて>

「主催者は個人情報の保護に関する法律及び関連法令などを遵守し、個人情報を扱います。大会参加者からお預かりする個人情報は選手の技術向上、交流、安心できる試合体制維持のためを目的とします。例として、大会プログラムへの掲載、関連情報の通知、記録発表（報道機関）などに利用します。」